

平成26年度関東女子倶楽部対抗群馬会場予選競技 組合わせ及びスタート時間表

(参加者 16倶楽部・80名)

期日：6月12日(木)

場所：太田双葉カントリークラブ 愛宕・御所之入コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番 (愛宕コース) よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	田子 とみ江	初穂	川崎 エミ子	赤城	小澤 千恵子	白水	木幡 サチ子	サンコー72
2	8:09	富田 南海子	甘楽	宮崎 三枝子	ベルエア	兼井 まさ子	赤城国際	吉田 敦美	ツインレイクス
3	8:18	入沢 るり子	初穂	千野 理恵	白水	峯岸 絹枝	桐生	西 有実子	鳳凰
4	8:27	山納 連淑	サンコー72	岩沢 純子	赤城	大沢 百合子	草津	岡本 典子	レーサム
5	8:36	橋田 洋子	鳳凰	増茂 ケイ子	サンコー72	鈴木 晴美	太田双葉	原 勝代	ベルエア
6	8:45	坪井 佳笑	レーサム	岩井 恭子	赤城国際	伊勢塚 恵美子	グリーンパーク	神林 加津子	藤岡
7	8:54	濱川 育子	桐生	森谷 美穂	草津	瀬間 かず子	甘楽	都丸 美佐子	伊香保国際
8	9:03	小池 晶代	白水	石川 紀緒美	鳳凰	林 景子	赤城国際	森島 豊子	太田双葉
9	9:12	野月 暁子	ツインレイクス	庄田 雅恵	草津	位下 和子	初穂	杉浦 ちえみ	藤岡
10	9:21	角田 くに子	レーサム	島村 弘子	伊香保国際	武笠 浩子	グリーンパーク	矢野 美代子	甘楽

10番 (御所之入コース) よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
11	8:00	板橋 博美	桐生	高橋 広子	草津	林 夏美	鳳凰	齊藤 静子	レーサム
12	8:09	狩野 益美	伊香保国際	武内 真理子	グリーンパーク	大槻 美代子	太田双葉	五十嵐 洋子	藤岡
13	8:18	大崎 由里香	甘楽	高澤 亜希子	赤城国際	篠原 久子	伊香保国際	黒崎 美津江	太田双葉
14	8:27	前田 薫子	ベルエア	長井 佐代	ツインレイクス	田中 和江	グリーンパーク	田辺 美恵子	藤岡
15	8:36	福原 千波	伊香保国際	武藤 真由美	白水	西田 美代子	赤城	川田 奥乃	桐生
16	8:45	西村 香世子	草津	井上 早苗	甘楽	森島 眞知子	ツインレイクス	木樽 ふさ	初穂
17	8:54	角田 かつ枝	赤城	武井 博子	初穂	野口 三佐子	ベルエア	佐野 文子	グリーンパーク
18	9:03	鈴木 輝美	サンコー72	矢島 みど里	レーサム	高野 南美江	ツインレイクス	本郷 すみ江	藤岡
19	9:12	高橋 清美	赤城	秋田 たまみ	鳳凰	石井 嘉奈子	赤城国際	川崎 幸代	白水
20	9:21	大島 恵子	ベルエア	三村 淑恵	桐生	江原 ミエ	サンコー72	岩崎 米子	太田双葉

競技委員長 松本 肇

平成 26 年度 関東女子倶楽部対抗群馬会場予選競技

開催日 : 6月12日(木)

開催コース : 太田双葉カントリークラブ 愛宕・御所之入コース

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I(c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I(c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

7. プレーの中断と再開

- (1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間でいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)
- (3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。
険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。
と同時に本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。
この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーンの芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。
3. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - a. 排水溝
 - b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - c. 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
5. コースと不可分の部分
 - a. 樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの
 - b. 小砂利やウッドチップを使用して舗装した区域
 - c. ハザード内にある人工の壁、パイリング(杭)
6. ホールとホールの中の白杭
ホールとホールの中の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球は、アウトオブバウンズの球とする。

注意事項

1. 競技の条件 4 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 箱(24 球)を限度とする。

競技委員長 松本 肇

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	285	125	326	364	158	438	347	310	419	2772
Par	4	3	4	4	3	5	4	4	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
474	308	441	317	117	336	127	268	265	2653	5425
5	4	5	4	3	4	3	4	4	36	72